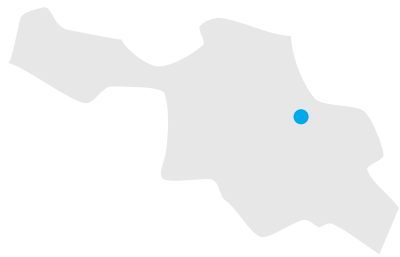


写真でよみがえる50年 vol. 8



昭和35年 変電所社宅

東京電力北東京変電所

「東洋一のマンモス変電所」「白岡町に“怪物”現る」と、昭和34年当時の新聞見出しには書かれています。この記事から、変電所がいかに大規模で、その心臓部でもあるトランス（変圧器）の運搬が困難を極めていたことが分かります。記事によると、総工費23億円、敷地面積15.3ヘクタールで、アジア最大規模の変電所であったと書かれています。

この工事の中心は、1基約200トンという電圧27万5千ボルトのトランス2基の据え付けでした。運搬は、世界で1台しかないという120トントレーラーを操作し、道路に鉄板や六寸角の角材を敷き、橋を3橋架け替えるなどして、約2,000万円の運搬費をつぎ込んで行いました。

ふるさと
白岡紀行

町制施行50周年記念事業

第6回全国獅子舞シンポジウムIN白岡を開催

獅子舞シンポジウム（町制施行50周年記念事業、獅子博物館主催、白岡町・町教育委員会後援など）は、11月27日（土）に中央公民館講堂で（資料代1,000円）、28日（日）にはコミュニティセンター舞台ホール（無料）で、獅子舞の研究発表と実演を行います。沖縄県名護市の「やんばる青年団」による琉球舞踊・エイサーや、小久喜ささら獅子舞の実演も行われます。ぜひ、お出かけください。

問合せ先 生涯学習課社会教育係 内線272

琉球舞踊・名護大獅子▶



「確かな学力」の向上と「生きる力」の育成を 目指して
本校は昭和57年に舊我中学校の分離校として新設され、創立23年になります。当時、舊我中学校のOBが南中学校の生徒たちの平和な学園生活を願い、大きく羽ばたいてもらおうと「稲穂」と「県鳥シラコバト」をあしらった校章をデザインしました。
特色ある学校をつくるために、昨年に引き続き、「確かな学力」



毎朝10分間の朝読書

わが校自慢

南中学校



沖山2区の夏まつり

の向上と「生きる力」の育成を目指して、毎日の授業と体験活動をたいせつにしながら、教育活動を推進しています。
「確かな学力」の向上のために授業時間数の確保。極力自習時間をとらないため授業交換を行っています。指導と評価の一体化。きめ細かな観点別評価を行い、指導の工夫改善をしています。少人数指導。数学等で学級を二分割して授業を行っています。
「生きる力」の育成のために、朝読書。みんなで、毎朝10分間自分で選んだ本を、ただ読むだけでなく、落ち着いた学校生活を送る上で非常に役立っています。課題解決的な体験学習を取り入れた学校行事。1年生の職業体験学習、冬の自然体験学習（スキー教室）、2年生の夏の自然体験学習（林間学校）、3年生の歴史体験学習（修学旅行）を実施しています。地域貢献教育活動。資源回収、白岡まつりや西口商店会祭や沖山2区祭などに、ソーラン踊りや吹奏楽部が参加しています。